

第49期定時株主総会

互助会保証株式会社

Mutual Service Aid Guarantee Corporation

I. 第 4 9 期事業報告(令和 2 年6月1日から令和3年5月31日まで)

II. 第 4 9 期計算書類並びに監査結果報告

III. 決議事項

第 1 号議案 第 4 9 期剰余金の処分・配当案の承認の件

第 2 号議案 取締役 1 4 名選任の件

第 3 号議案 退任取締役に対する退職慰労金等贈呈の件

I. 第49期事業報告

(令和2年6月1日から令和3年5月31日まで)

I. 第49期事業報告

当社の現況に関する事項 金融経済環境、互助会の経営環境

日本経済は12月までは持ち直しの兆し、1月以降再び回復鈍化

経 済

海外：昨年秋以降の新型コロナウイルスの感染再拡大により、年度末にかけて景気の回復は穏やかなペースに留まる
国内：経済活動の持ち直しの兆しが見られたが、本年1月以降の緊急事態宣言の再発令等により再び経済活動は停滞

金 融

為替：ドル円相場は、本年2月まで円高進行、その後110円台で推移
株式：日経平均は、本年2月に3万円台まで上昇し、その後年度末にかけて2万9千円台を中心に推移
欧米：米国長期金利は0.5%～1.0%で推移後、年度末にかけて1.6%台まで上昇(ただし、その後再び低下)
日本：金融緩和政策が継続され長短金利は、引続き低金利で推移

互 助 会

従来の構造的問題に加えて、昨年3月以降の新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい事業環境が続いている

I. 第49期事業報告

当社の現況に関する事項 ～互助会業界の事業環境と課題～

社会構造と消費者意識の変化＋コロナ禍の影響

- 少子高齢化の進展、地縁・人縁の希薄化、地域コミュニティの消失
- 儀式への意識変化による儀礼の「多様化」「簡素化」
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響

事業環境

冠 婚

- ✓ 婚姻件数の減少、挙式率低下、競合激化、挙式の延期・中止

葬 祭

- ✓ 葬儀スタイルの多様化、簡素・小規模化による施行単価の低下

その他

- ✓ 冠婚葬祭以外の事業の悪化、新規会員募集環境の悪化

課題

- 経営環境変化とその影響度を踏まえた抜本的かつ迅速な収益・キャッシュフロー改善策の実行
- 互助会の強みを活かし冠婚葬祭を核としつつ、社会的ニーズに応えうる新たな事業の構築

I. 第49期事業報告

当社の現況に関する事項

第49期の活動実績～保証基盤(純資産+受託事業基金)の拡充・強化等～

①保証契約残高当の増強等による着実な積み上げ

- 令和3年5月末の契約残高は、7,809億円(前年度比+37億円)
- 令和3年5月末の保証基盤は、契約残高増加に伴う受託事業基金の増加及び利益の内部留保に伴う純資産の増加によって983億円

②安全性を重視した資産運用

- 資産運用の基本方針に基づき安全性を重視した資産運用を実施
- 資産運用損益(劣後債金利支払い後)は、低金利政策と有価証券市況の回復により実績18億円
- 令和3年5月末の有価証券の含み益は、債券、株式、リートの全ての資産区分で増加。令和3年5月末の有価証券の含み益は、42億円

I. 第49期事業報告

当社の現況に関する事項

第49期の活動実績～供託リスクの軽減

① 行政との連携強化

- 互助会の状況やマーケット動向について意見交換を実施

② 互助会へのコロナ禍緊急支援策の実施

- 業界システム維持、発展のため令和2年3月末基準日契約から実施して来た受託契約に関する緊急支援策(手数料率等契約条件)を継続適用

③ 要対策互助会への早期対応

- コロナ禍による業績悪化、厳格な認定により社数、契約額ともに増加
- 契約先互助会の経営環境が厳しくなるなか、より一層適切な指導、支援に向けた活動を一層強化します。
- 要対策互助会の早期経営改善、引受支援互助会の負担軽減を目的に要対策互助会への再建支援策(タイプD)創設

I. 第49期事業報告

当社の現況に関する事項

第49期の活動実績～互助会の経営の発展、安定への貢献、CSR、システム等

① コロナウイルス感染症拡大に対する研究会、調査

- 「ポストコロナ研究会A」
 - ・ コロナ禍に伴う消費者の意識・行動変化等が及ぼす互助会経営への影響調査として「結婚に関する意識調査」及び「葬祭に関する意識調査」を実施
- 「ポストコロナ研究会B」
 - ・ コロナ禍による影響を加味した中長期的な互助会の財務シミュレーションにより今後の消費者保護及び業界システム維持の対応策について検討
- コロナ禍が互助会の売上高、収益、資金繰りに及ぼす影響調査を契約先へのアンケート方式により2回実施。
取締役会に報告、メールマガジン掲載。また今後の市場予測データとして活用

② 情報発信

- メールマガジンに互助会経営に関するレポート(コロナ禍の影響調査等の調査研究報告、契約先の経営データ分析、上場冠婚葬祭業者との経営比較等)を掲載
- 情報発信「互助会通信」への研究所レポート掲載、冠婚葬祭データブック発刊

③ (一財)冠婚葬祭文化振興財団冠婚葬祭総合研究所への委託事業

- 調査・研究 「感染症拡大に伴う社会構造変化と互助会ビジネスの方向性」、
「消費者意識調査」等
- 儀式文化研究 学識経験者による調査研究論文(論文集)、研究員による調査研究

I. 第49期事業報告

当社の現況に関する事項

第49期の活動実績～互助会の経営の発展、安定への貢献、CSR、システム等

④ CSR の 推 進

- (一財)冠婚葬祭文化振興財団の社会貢献基金助成事業に賛同し、同財団へ寄付を行いました。

⑤ 業務システム・テレワーク体制整備等

- 業務の効率化及び危機管理対策として、業務のシステム化推進、在宅勤務・時差出勤制度等の構築を行いました。

I. 第49期事業報告

当社の現況に関する事項

中期経営計画「平成30年度～令和2年度(平成30年7月策定)」

冠婚葬祭互助会の健全な発展を支援し、
消費者からの一層の信頼確保に取り組んでいきます。

互助会の経営の発展、
安定への貢献

供託リスクの軽減

保証基盤の堅持

具体的
施策

事業運営

(1) 互助会の経営の発展、安定に関する取組み

①事業環境の変化や各社の実情に見合った的確な経営助言

②互助会のニーズに合致した情報の提供機能の強化

③新総合評価の定着化と安定した運営

(2) 供託リスクの軽減に関する取組み

①担保の適正化

②要対策互助会への早期対応・健全化

(3) 保証基盤堅持に向けた総合的取組み

①利益剰余金（内部留保）による着実な積上げ

②堅実な資産運用

(4) キャプティブスキームの終了

(5) ㈱冠婚葬祭総合研究所の調査研究、情報発信強化

(6) CSRの推進

インフラ・
組織運営

(1) 情報システム環境の整備及び業務支援機能の強化

社内システムの改定更新、将来見直し

(2) 業務プロセスの改善

中期経営計画実績（平成30年度～令和2年度）

（単位：百万円）

	中期経営計画 目標	実 績 平成30年度	実 績 令和元年度	実 績 令和2年度	中期経営計画 達成=◎
受託契約額（億円）	7,804	7,753	7,772	7,809	◎
収 入		2,342	3,134	1,583	
費 用		1,228	882	1,479	
経常収支		1,114	2,252	104	
資産運用収支		743	1,043	1,838	
全体収支(税引前純益)		1,857	3,295	1,943	

純資産	40,620	38,570	41,013	44,525	◎
受託事業基金	52,944	52,860	53,320	53,870	◎
保証基盤	93,564	91,430	94,333	98,395	◎

（注）純資産は配当金支払後を表記しております

I. 第49期事業報告

当社の現況に関する事項

中期経営計画「令和3年度～令和5年度(令和3年7月取締役会決議)」

これまでの経営方針を基本的に承継するとともに、新たな経営課題に対応し、互助会業界をはじめとしたステークホルダーに対する責任を果たしていきます。

保証基盤の堅持

供託リスクの軽減

互助会の経営の発展、安定への貢献

具体的 施策

事業運営

(1) コロナ禍に直面する互助会の支援

- ①新たな負担が生じない契約条件の継続運用
- ②契約先互助会に対する経営改善提案力の強化
- ③「任意引受け」支援策の支援等
- ④互助会相互連携の支援
- ⑤業界団体及び行政との協力

(2) 保証基盤の堅持

- ①契約残高の維持に保証基盤の堅持
- ②社債の償還、堅実な資産運用

(3) 供託リスクの軽減

- ①適時適切な要対策互助会の認定・解除
- ②経営逼迫先への対応
- ③総合評価制度の点検
- ④担保評価制度の適正化

(4) 互助会保証の事業価値向上

情報収集・提供の充実、組織運営・業務の効率化、人材育成

次期中期経営計画（令和3年度～5年度）

（単位：百万円）

	実 績 令和2年度	計 画 期 間		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
受託契約額（億円）	7,809	7,809	7,809	7,809
収 入	1,583	1,517	1,517	1,518
費 用	1,479	718	723	731
経常収支	104	799	794	787
資産運用収支	1,838	880	877	877
全 体 収 支(税引前純益)	1,943	1,679	1,671	1,664
純資産	44,525	45,585	46,639	47,689
受託事業基金	53,870	53,870	53,862	53,833
保証基盤	98,395	99,455	100,501	101,522

（注）純資産は配当金支払後を表記しております

II. 第49期計算書類並びに監査結果報告

II. 第49期計算書類並びに監査結果報告

損益計算書

自 令和 2年 6月 1日
至 令和 3年 5月 31日

(単位：千円)

科 目	金 額	
営 業 収 益		
収 入 手 数 料	1,434,561	
責 任 準 備 金 戻 入	676,407	
責 任 準 備 金 繰 入	△676,241	1,434,727
営 業 費 用		1,539,512
営 業 損 失		104,785
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	113	
受 取 配 当 金	1,481,164	
有 価 証 券 利 息	270,044	
投 資 有 価 証 券 運 用 益	734,578	
受 取 賃 貸 料	106,892	
雑 収 入	5,564	2,598,357
営 業 外 費 用		
社 債 利 息	100,000	
賃 貸 収 入 原 価	47,221	147,221
経 常 利 益		2,346,350
特 別 利 益		
責 任 準 備 金 戻 入	106,590	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	91,054	
抱 合 株 式 消 滅 益	38,022	235,667
特 別 損 失		
投 資 有 価 証 券 売 却 損	638,927	638,927
税引前当期純利益		1,943,089
法 人 税 等	831,606	
法 人 税 等 調 整 額	△254,009	577,597
当 期 純 利 益		1,365,492

(注) 千円単位未満の端数は、切り捨てて表示しています。

II. 第49期計算書類並びに監査結果報告

貸借対照表

令和3年5月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	14,160,040	流動負債	11,949,612
現金及び預金	5,296,220	一年以内償還社債	10,000,000
有価証券	8,749,014	責任準備金	676,241
未収入金	3,115	未払金	23,364
未収収益	109,717	未払費用	86,069
前払費用	941	未払法人税等	287,374
貯蔵品	123	未払消費税	1,101
立替金	908	預り金	2,830
		前受収益	9,798
固定資産	97,370,188	未払配当金	3
(有形固定資産)	3,418,606	債務保証損失引当金	862,828
建物	1,381,766		
什器備品	7,397	固定負債	54,956,799
土地	2,029,442	受託事業基金	53,870,196
		預り保証金	50,484
(無形固定資産)	73,259	役員退職慰労引当金	32,430
ソフトウェア	72,803	退職給付引当金	4,812
電話加入権	456	繰延税金負債	998,875
(投資その他の資産)	93,878,322	負債合計	66,906,412
投資有価証券	93,872,942		
長期前払費用	5,379	純資産の部	
		株主資本	41,653,733
		資本金	3,980,000
		資本剰余金	3,014,509
		資本準備金	3,014,509
		利益剰余金	34,659,224
		利益準備金	122,880
		その他利益剰余金	34,536,344
		任意積立金	33,138,400
		受託事業基金積立金	33,138,400
		繰越利益剰余金	1,397,944
		評価・換算差額等	2,970,083
		その他有価証券評価差額金	2,970,083
資産合計	111,530,229	純資産合計	44,623,817
		負債純資産合計	111,530,229

(注) 千円単位未満の端数は、切り捨てて表示しています。

III. 決議事項

III. 決 議 事 項

1. 第 4 9 期 定 時 株 主 総 会

第 1 号議案 第 4 9 期剰余金の処分・配当案の承認の件

「定時株主総会招集ご通知」P.30をご参照ください。

【第 4 9 期 期末配当金】

普通株式	400円/1株	普通配当	3 8, 4 0 0 千円
優先株式	1,000円/1株	普通配当	6 0, 0 0 0 千円
合計			9 8, 4 0 0 千円

【受託事業基金積立金】

■繰越利益剰余金を減少し、1, 2 5 0 百万円を積み立てる

III. 決 議 事 項

1. 第 4 9 期 定 時 株 主 総 会

第 2 号議案 取締役14名選任の件

「定時株主総会招集ご通知」P.31～36をご参照ください。

【取締役候補者】

(五十音順)

氏 名	直 近 の 主 な 役 職
石田 恵三	当社 常務取締役
岩木 権次郎	当社 常務取締役
神田 成二	アルファクラブ武蔵野(株) 代表取締役会長 当社取締役
神田 忠	(株)日本セレモニー 代表取締役会長 当社取締役
北野 洋	ヒューリック(株) 常務執行役員財務部長 当社取締役

神田成二、神田 忠、北野 洋の3氏は、社外取締役候補者です。

III. 決 議 事 項

1. 第 4 9 期 定 時 株 主 総 会

第 2 号議案 取締役14名選任の件

【取締役候補者】

(五十音順)

氏 名	直 近 の 主 な 役 職
齋藤 斎	(株)ベルコ 代表取締役社長 (株)互助センター友の会 代表取締役
齋藤 直樹	三菱UFJ信託銀行(株) 本店法人営業部長 当社取締役
杉山 茂之	(株)あいネット 代表取締役社長 (一社)全日本冠婚葬祭互助協会 副会長
中森 和宏	(株)三井住友銀行 日比谷法人営業第一部長
舟町 仁志	当社 代表取締役社長

齋藤 斎、齋藤直樹、杉山茂之、中森和宏の 4 氏は、社外取締役候補者です。

III. 決 議 事 項

1. 第 4 9 期 定 時 株 主 総 会

第 2 号議案 取締役14名選任の件

【取締役候補者】

(五十音順)

氏 名	直 近 の 主 な 役 職
三浦 正豊	(株)りそな銀行 赤坂支店長兼営業第一部長 当社取締役
村上 秀	(株)みずほ銀行 虎ノ門法人部長
山下 裕史	(株)117 代表取締役社長 (株)大和生研代表取締役社長 (一社)全日本冠婚葬祭互助協会 会長 当社取締役
吉田 茂視	(株)メモリード 取締役会長 当社取締役

三浦正豊、村上 秀、山下裕史、吉田茂視の4氏は、社外取締役候補者です。

III. 決 議 事 項

1. 第 4 9 期 定 時 株 主 総 会

第 3 号議案 退任取締役に対する退職慰労金等贈呈の件

「定時株主総会招集ご通知」P.36をご参照ください。

(五十音順)

氏 名	略 歴
齋藤 武雄	平成28年8月 当社取締役(令和2年11月逝去)
杉山 雄吉郎	平成25年8月 当社取締役会長(現在)
竹田 雅光	令和元年8月 当社取締役 (現在)
土屋 健太郎	令和 2 年8月 当社取締役 (令和3年5月辞任)